

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」上下流の交流・連携を

“木曾へ行きましょう…”バスツアー

～星野富弘さんの「花の詩画展」(木曾町)と木祖村の畑などを体感～

☆日程：2015年7月18日(土)

☆集合時間、場所：

[1] 名古屋方面の方々は、**8時出発(7時55分集合)**。

名古屋市千種区の今池にある事務所前(地下鉄今池駅下車1番出口徒歩5分)

[2] 可児、多治見方面の方々は、**9時15分出発(9時集合)**。JR多治

見駅北側駐車場

☆参加費：大人4千円(別途入場料500円)。小中学生は3千円(入場無料)。定員25人。

☆申し込みは、裏面の事務所へメール、電話、FAXで。

☆締め切りは7月8日(水)。

7月10日(金)～20日(月・祝)、長野県木曾町にある木曾文化公園文化ホール・ホワイエで“やさしさと愛にみちた”星野富弘さんの「花の詩画展」が開催されます。主催している中心スタッフは、小池糰店のメンバー。みんな・みんなの会も協賛団体に加わっています。主催する「木曾実行委員会」では、広く協賛を募っています。申し込み締め切りは7月8日(水)です。

「花の詩画展」が初めて開催されたのは高崎市、以後全国各地で開催され、大きな感動を呼びました。1994年にはニューヨーク、97年と2000年にホノルル、2001年サンフランシスコとロスアンゼルス、そして2003年ワルシャワで開催されてきました。

この「花の詩画展」に行きます。あわせて木曾川源流の里・長野県木祖村で5年前から畑(標高1100m、前方には木曾駒ヶ岳、周りには白樺林)を借りて、私たちが大豆づくりを行っている現場・その周辺を散策します。

皆さん、バスツアーにご参加ください。

<9月20、21日今池祭り……出店します、皆さんのご支援、ご協力をお願いします>

9月20日《日》、21日《祝・月》、名古屋市千種区今池交差点を中心に、第27回今池祭りが行なわれます。今回も木曾広域連合の方々と連携し、「ブース」を今池交差点付近に、両日とも10時から18時ごろまで出しています。

美味しいとうもろこしや新鮮な野菜、飲むヨーグルト、木工品、ところてん、こんにゃくなどの木曾川、飛騨川上流の物産の販売を計画しています。また、今回も『木曾川流域図』の販売も行います。

テントの立ち上げ、資材の搬入、ブースの運営、また片付けなど、人手が必要です。ぜひ、お時間のある方はお手伝いに来てください。よろしくお祈りします。売り上げの収益は「木曾川流域水源の里基金」に入ります。

☆問い合わせや連絡は、みんな・みんなの会事務局の近藤進までお願いします。電話090-4150-6156 ☆

6月7日、なごや水フェスタ 開催

6月7日(日)午前10時から午後3時まで、名古屋市千種区にある鍋屋上野浄水場で、6月1日～7日の水道週間の中で毎年恒例の“なごや水フェスタ”が名古屋市上下水道局主催で行われます。

昨年が名古屋市水道給水を開始して100周年でした。開始当時の旧第一ポンプ所などもこの日だけ公開されます。

木曾川上流域から木曾広域連合や木祖村などがブースで野菜や木製品などを販売。みんなの会も参加します。皆さん、お出かけください。



犬山取水口から流れ込む木曾川の水

＝名古屋市千種区の鍋屋上野浄水場

第5期木曾川流域水源の里基金の運用について、ご意見・ご提案を

第1期木曾川流域水源の里基金で、長野県木曾青峰高校インテリア科の高校生が間伐材で制作したベンチ12脚を名古屋市の東山植物園に2011年2月25日に贈呈。同年7月20日、木曾郡10の小学校に、それぞれ『水の旅 はるか』などの4冊の図書を贈呈。第2期は、木曾青峰高校インテリア科の高校生が制作した9種類の木製玩具を名古屋市科学館に2013年2月27日に贈呈。第3期では、木曾青峰高校インテリア科の3年生が間伐材(ケヤキ、カエデ、クリ)でベンチを制作。ベンチは名古屋城天守閣で使われています。また、木曾福島駅前のバス待合室に4脚のベンチも贈呈しました。

第4期は木曾青峰高校インテリア科の3人の高校生が制作した4種類の木製玩具を名古屋市科学館に2015年3月3日に贈呈＝**新聞記事**＝しました。科学館2階の「おもちゃのひろば」で、子どもたちを楽しませています。「水源の里基金」へのご支援・ご協力に厚くお礼申し上げます。今後の基金の運用について、会員、関係各位の皆様からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。よろしく願います。

(平成27年) 3月4日 水曜日

信 濃 毎 日 新 聞

木のおもちゃ 女子生徒手作り インテリア科 名古屋市科学館に寄贈

木曾青峰高

木曾郡木曾町の木曾青峰高校インテリア科は3日、3年の女子生徒3人がブナやホウノキで作ったオリジナルの木製玩具4点を名古屋市科学館(名古屋市中区)に贈った。科学館は2階の「あそびのひろば」に置いて、子どもたちに遊んでもらう。

作ったのは吉村佳菜さん(木曾町)、塚原結花さん(塩尻市)、村木美佳さん(木曾郡王滝村)で、課題研究の授業で取り組

んだ。5日に卒業式を迎える。吉村さんが「輪投げシーソー」と「木のばね」、塚原さんが「カラフルブロック」、村木さんが「六角形ジェンガ」を考えた。「跳ぶものを作りたいかった」(吉村さん)、「どうしても頑丈になるか考えた」(塚原さん)、「バランスを考えながら遊べるように工夫した」(村木さん)という。

インテリア科が科学館に木製玩具を贈るのは2013年に続き2回目。木曾川の上下流の交流に



自作の木製玩具を手にする(左から)吉村さん、塚原さん、村木さん。3日、名古屋市科学館

取り組む名古屋市の市民団体「水源の里を守ろう 木曾川流域みんなの会」の基金を活用した。

この日は3人と、授業で指導した講師の山下祐也さん、木曾

広域連合、「みんなの会」の関係者らが科学館を訪れ、玩具を披露。3人が遊び方を紹介した。額田(すくも)館長は「本物の木の肌触りを子供たちに知ってもらいたい」と話していた。

水源の里を守ろう 木曾川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付

TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail:suigennosato@gmail.com